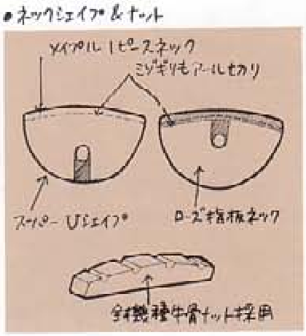
PB HARD PUNCHER SERIES

ビス1本に至るまで細かい配慮と追求、オールドモデルキングにふさわしいスペシャルスペック。

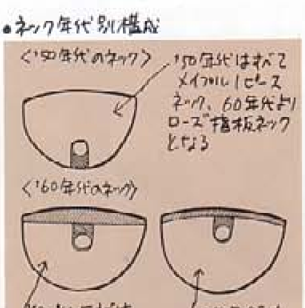
● ヘッドストック(モダンPBモデル)

● ヘッドストック(PBヴィンテイジ&オールディモデル)

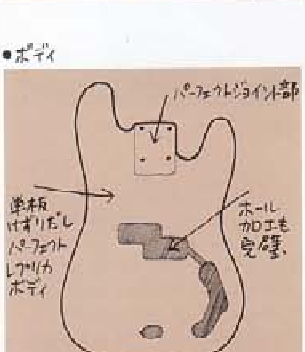
● ネックシェイプ&ナット



● ネック年代別構成

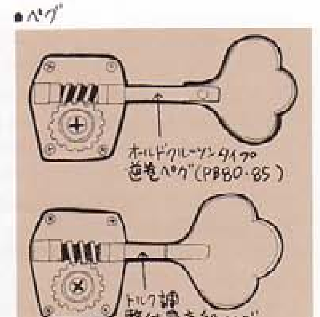


● ボディ

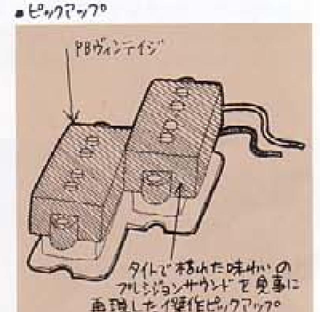


●ネック：PBシリーズのネックもまた'81ニュースペックより3タイプに生まれ変わった。('57PBヴィンテイジモデル)('64PBオールディモデル)そして(モダンPBモデル)の3種類。魅力の仕様は次のとうりだ。●'57PBヴィンテイジモデル：オリジナル'57PBをパーフェクトにレプリカしたオールドタイプネック。TEシリーズと同じシルバータイプロゴ、そしてオールドクルーソンタイプ逆巻ペグ、スペシャルオールドラッカーフィニッシュ等、ヴィンテイジモデルのフィーリングをいかんなく発揮。PB80.85Nの2種類のみに採用されたニューフェイスだ。本邦初登場完全レプリカのペグヘッドフィーリングを実感してほしい。'57オリジナルモデルだから当然メイプル1ピースネック仕様だ。ロゴもデカールタイプで塗装まくの上に貼ってある。●'64PBオールディモデル：さきのメイプル1ピースネックに対してローズ指板ラミネイトのメイプルネック。'64オリジナルPBのフィーリングを完璧に再現したオールドネックだ。さきの'57ヴィンテイジモデルとはローズ指板ネックであること以外はすべて仕様は共通している。あくまでも歴史にあわせたパーフェクトなレプリカモデルを製作しているトーカイならではのスペシャルスペックで、PB80、85Nのローズ指板仕様のネックにあたる。ローズ指板はもちろんアール指板の採用だ。トラディショナルモデルの歴史による指板構成を君はもう完全に理解しただろうか？……今一度確認すると①'50年代はすべてメイプル1ピースネックのみ。②'60～'62年まではローズ指板フラットばりのメイプルネック③'63～からはローズ指板アールばりのメイプルネックということになる。要するにメイプル1ピースネックは'50年代、そのメイプルネックにローズ指板をラミネイトしたローズ指板ネックが'60年代と覚えておこう。(また極くまれに'60年代にもメイプル指板のネックもあるが1ピースではなく貼り指板であることも覚えておこう。)●モダンPBモデル：PB40・48・60・65Nのネックがこれにあたり'65年以降のモダンPBモデルのネックをパーフェクトコピーしたニュータイプのネックだ。このモデルからはメイプル1ピースとローズ指板ネックの2タイプ仕様となっている。詳細の仕様についてはSPEC表を参照。ゴールドのビッグロゴとハードパンチャーのネーミングがアグレッシブなサウンドを展開するにふさわしいペグヘッドフィーリングを誇っている。●フレッチング、その他：フレッチングも完璧だ。いうまでもないがフレットのミゾきり部分でもNCルーターが活躍している。一本一本、正確にしかもアールのついたミゾがきられ、クラフトマンにより細心の注意がはらわれフレットが打ち込まれる。そしてファイリングされたネックはまさにパーフェクトな仕上がりをみせる。ネックシェイプも理想的でPB80・85NにはオールドUシェイプ。PB40・48・60・65NにはモダンUシェイプをそれぞれ採用、抜群のプレイヤビリティを発揮するプロミュージシャン絶賛のスーパーシェイプだ。ナットには牛骨を採用、仕上げにはたっぷり時間がかけられ完全手づくりだ。ブリッジ、ポールピースそして演奏性の関係から極めて正確なナットミゾの位置が決定され弦振動に対しても深さ、幅も完璧だ。●ボディ：PBシリーズはすべて単板けずりだしボディ。各シリーズでその抜群の機械力を発揮し、ギターキッズの話題独占のNCルーターが完璧でしかも精巧なボディを生みだしている。オフセットシェイプドウェストカットボディ、そしてネックジョイント部、ピックアップホール加工等、正確無比を誇るコンピューター制御とクラフトマンのデリケートな神経による「現代工学」と「手」の見事な調和が完成させたパーフェクションボディだ。そしてついに木材にも同じマテリアルであるアルダー材を採用(PB80・85N)。タイトでオールディーなPBサウンドを再現している。その他のモデルもセン材によるセレクテッドボディを採用。ユニークで衝撃的なギターそしてベースづくりを続けるトーカイがプロミュージシャンそしてオールドギターマニアに捧げるレプリカモデルの決定版だ。●ペグ：ペグは3タイプ。PB40・48には3点止めプレート型、PB60・65Nにはオリジナル4点止めプレート型フェンダータイプ。いずれもトルク調整つきの最高級ペグだ。微妙なチューニングも確実、抜群のデザインと使用感だ。そしてPB80.85Nにはついにオールドクルーソンタイプ逆巻きペグを採用、スモールタイプのペグボタンには4点止めプレート。オリジナル'57PBのフィーリングをジャストに伝える高精度ペグを完成させている。●ピックガード：ピックガードは各モデルの個性にあわせた3タイプ仕様。PB80・85Nのメイプル1ピースネック仕様の'57PBヴィンテイジモデルにはアルミ製ヘアライン仕上げのピックガードパネルがマウントされている。これが'57年型PBの最大特長だったわけで、アルミのピックガードパネルはそれ自体がシールドパネルでもあり完全に外部のハムをシャットアウト。ところがトラディショナルフェンダー社は'57年、1年間のみで製作を中止してしまった。アルミはすばらしい特性をもっているにもかかわらず非常に錆びやすい欠点があったからだ。そこでプロジェクトチームはオリジナルデザインのフィーリングとアルミの特性を生かすため防錆処理加工することを発想し、よりすぐれたピックガードパネルを完成させた。そしてPB80・85Nのローズ指板仕様の'64PBオールディモデルにはベッコウタイプのピックガードパネルを採用、オールドのフィーリングを伝えると共に鮮やかなタータスシェルカラーがひときわ印象的だ。またPB40・48・60・65Nの4モデルにはブラック3プライピックガードパネルを採用。外部ハムもパネル内部のブラスシールドプレートでシャットアウト。シンプルなボディデザインをgood！ひきしめるハビーデューティなパネルだ。●ピックアップ：エレクトリックベースの代表的サウンドともいえるPBサウンド。タイトでパワフルなサウンドをクリエイトするピックアップの登場だ。文字どおりピックアップはベースの心臓部、すぐれた性能をもつピックアップがボディと最高のコンビネーションを発揮するときPBモデルの表現力は無限となる。PBシリーズのピックアップは3種類、PB80・85N・60・65の4機種にはPBヴィンテイジ、PB48にはPBスーパー、PB40にはPBダイナミックのいずれも個性あふれる新開発のスプリット型シングルコイルピックアップを採用している。スプリット型は基本的にはシングルコイルだが、2つ組みあわせることでハムバッキング効果をあげる革命的なピックアップだ。特にPBヴィンテイジは'57PBと同じコイルマテリアルを採用、マグネット、コイル線材などすべてにオールドサウンドを再現すべくスペシャル仕様。パワーをぜせおさえたタイトなPBサウンドが大きな魅力となっている。PBスーパー&PBダイナミックはモダンPBサウンドを基調としたパワフルでダイナミックなヘヴィサウンドが特徴だ。ハイコストパフォーマンスピックアップながら腰のある重低音、アグレッシブなサウンドはまさにハードパンチャー。どのタイプを選ぶにせよベーシストの音楽的要求は100%満たされる。●コントロールサーキット：コントロールサーキットは全モデル、ブラスシールドプレートを採用。長期にわたり安定したシールド効果を発揮する。またアース配線もバリアブルレジスターのカバーに直接ハンダづけする必要もなくなり、メインテナンス面も向上させたトーカイならではの親切設計。ベース1本がキミのベースワールドをすべて表現するわけだからイージーなブランド志向はさけてまずじっくり調べてみることだ。(アルミピックガードはパネル自体シールド効果抜群だからブラスシールドプレートはなし。)●テールピース&ブリッジ：テールピースも3種。PB80・85Nにはオールドと同じスパイラルブリッジ、しかもこれが中味はブラス。目にはみえないが最高のスペックでロングサスティンをグーンと向上させたトーカイだけのオリジナルパーツだ。PB60・65Nにはノーマル仕様のブラスブリッジ、PB40・48にはスティール製ニッケル仕上げのブリッジ&テールピースとなっている。●スペシャルスペックパーツ：PBシリーズのパーツはすべてスペシャルスペック。他ではちょっとマネのできない仕様。ビス1本に至るまで細かい配慮がパーフェクトレプリカモデルを生みだしている。実に小さいことだがこれがオールドモデルキングの宿命であると共に魅力なのだから……。

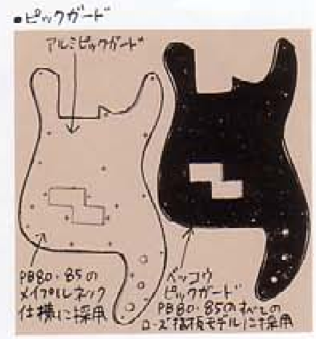
● ペグ

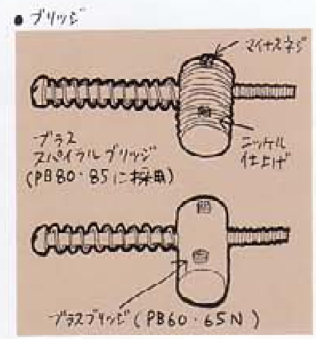


● ピックアップ



● ピックガード



● コントロールサーキット

● ブリッジ